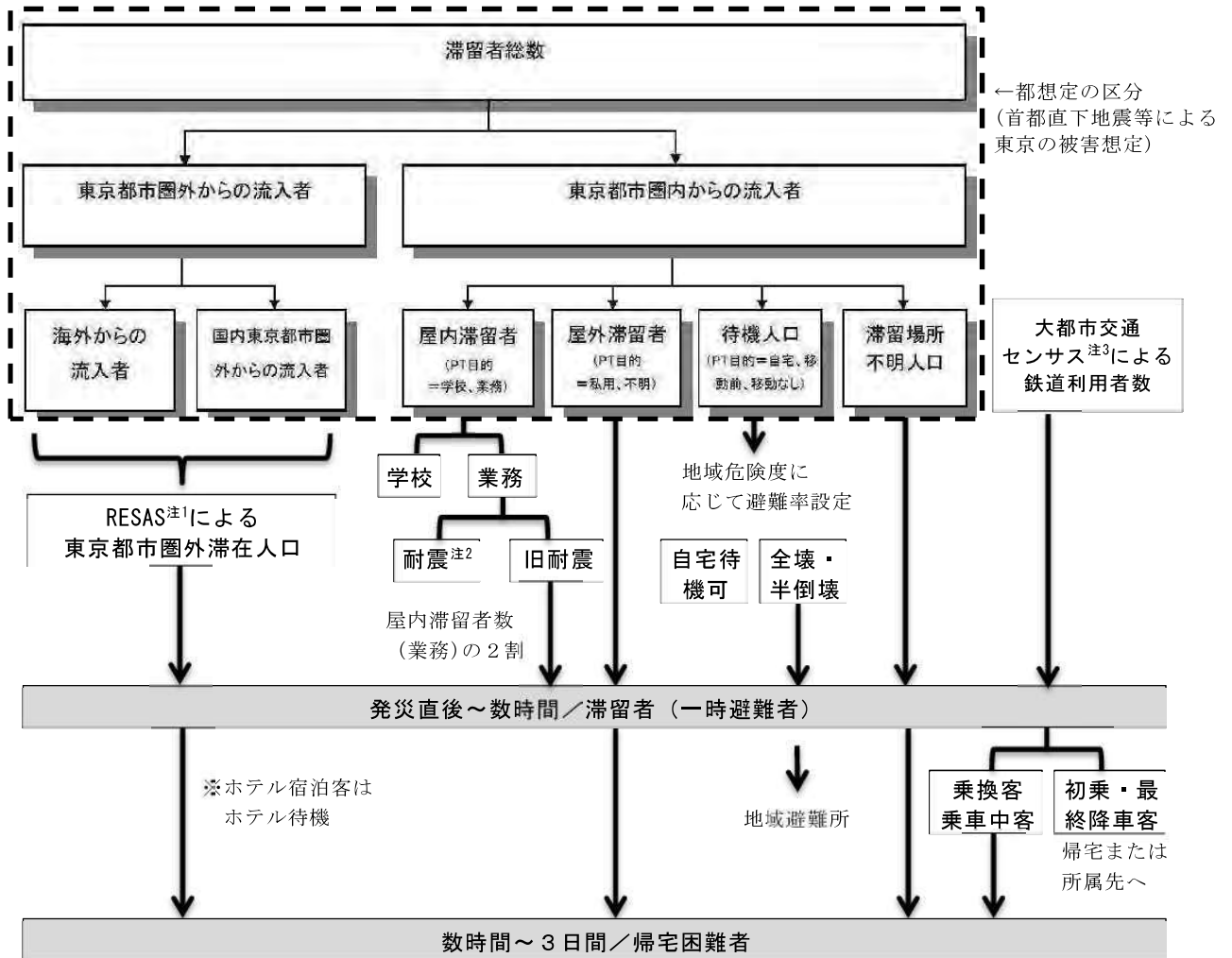


④ 滞留者等の推計

ア 滞留者、帰宅困難者推計の考え方

本計画では、駅周辺において特に対策が必要となる人々について検討を行うため、「首都直下地震等による東京の被害想定」における滞留者数をベースとしながら、以下のフローに沿って滞留者および帰宅困難者の推計を行った。

図表 13 滞留者および帰宅困難者の推計フロー（再掲）



注1 RESAS(地域経済分析システム) :

産業構造や人口動態、人の流れなどの官民ビッグデータを集約し、可視化するシステム

注2 旧耐震基準 :

昭和56年5月以前に建築された建物

注3 大都市交通センサス :

首都圏、中京圏、近畿圏の三大都市圏において、鉄道・バス等の大量公共交通機関の利用実態を調査することで、旅客流動量や利用状況(経路、端末交通手段、利用時間帯分布等)、乗換え施設の実態を把握するもの

2. 現況および課題の把握

イ 大崎駅周辺地域の滞留者数および帰宅困難者数

図表13のフローに基づき大崎駅周辺地域の滞留者数および帰宅困難者数を推計した結果は、以下のとおりである。

a. 大崎駅周辺地域の滞留者数および帰宅困難者数

大崎駅周辺地域全体の滞留者数は約77,098人（大崎駅側：41,808人、五反田駅側：35,290人）、帰宅困難者数は約43,219人（大崎駅側：23,798人、五反田駅側：19,430人）と推計される。

図表 14 大崎駅周辺地域における滞留者数および帰宅困難者数

	屋内滞留者 (業務) 避難者	屋外滞留者 滞留場所 不明人口	待機人口 避難者	東京都市 圏外来訪者	鉄道利用者	将来開発 集客数 (広域)	将来開発 集客数 (近隣)	合計
滞留者	24,315	16,089	5,824	8,485	22,385	—	—	77,098
帰宅困難者	—	16,089	—	8,485	18,645	—	—	43,219

b. 町丁目別滞留者数および帰宅困難者数

町丁目別の滞留者数および帰宅困難者数は、以下のとおりである。なお、鉄道利用者について、大崎駅側は大崎1丁目から3丁目に加算し、五反田駅側は東五反田1丁目、東五反田5丁目、西五反田1丁目、西五反田2丁目に加算した。

図表 15 町丁目別滞留者数および帰宅困難者数（大崎駅側）

	屋内滞留者 (業務) 避難者	屋外滞留者 滞留場所 不明人口	待機人口 避難者	東京都市 圏外 来訪者	鉄道利用者	将来開発 集客数 (広域)	将来開発 集客数 (近隣)	合計※
大崎 1	5,681	1,678	152	3,433	8,935			19,879
	—	1,678	—	3,433	7,525			12,636
大崎 2	2,529	356	497	729	4,649			8,760
	—	356	—	729	4,137			5,222
大崎 3	477	199	601	406	458			2,141
	—	199	—	406	147			752
大崎 4	354	579	429	1,185				2,546
	—	579	—	1,185				1,764
大崎 5	615	230	154	471				1,471
	—	230	—	471				701
広町 1	401	100	4	205				710
	—	100	—	205				305
西品川 2	108	84	1,009	172				1,373
	—	84	—	172				256
西品川 3	94	106	579	216				995
	—	106	—	216				322
北品川 4	584	115	101	234				1,034
	—	115	—	234				349
北品川 5	950	442	300	903				2,596
	—	442	—	903				1,345
北品川 6	120	44	47	91				303
	—	44	—	91				135
合計	11,912	8,047	3,874	3,933	14,042			41,808
	—	8,047	—	3,933	11,809			23,789

※合計欄の上段は滞留者数（屋内滞留者～将来開発集客数（近隣）までの合計）、下段は帰宅困難者数（滞留者数から、屋内滞留者、待機人口避難者、将来開発集客数（近隣）を除く）

※すべての町丁目において、大崎駅の鉄道乗車人員の伸び率を考慮している。

2. 現況および課題の把握

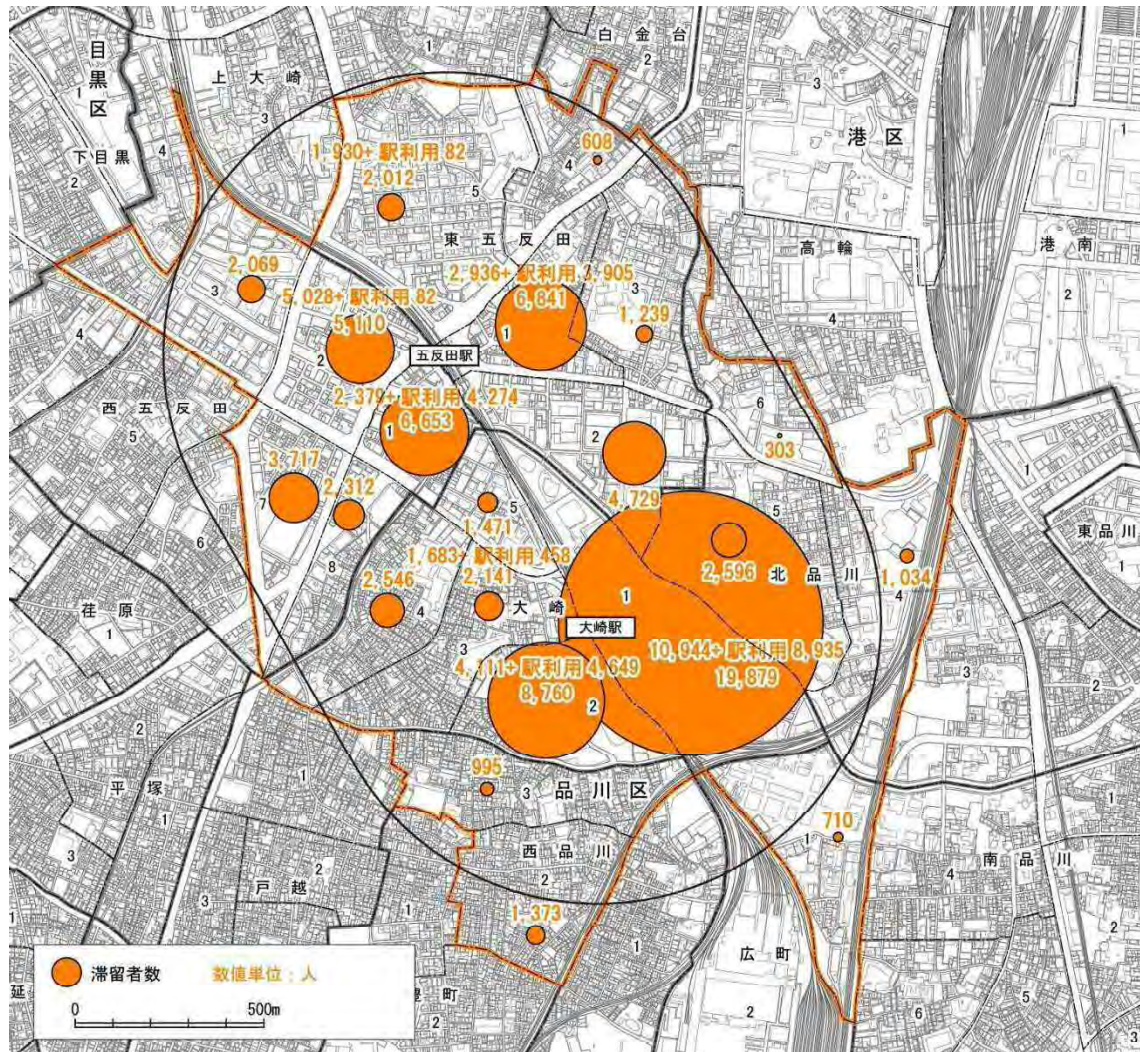
図表 16 町丁目別滞留者数および帰宅困難者数（五反田駅側）

	屋内滞留者 (業務) 避難者	屋外滞留者 滞留場所 不明人口	待機人口 避難者	東京都市 圏外 来訪者	鉄道利用者	将来開発 集客数 (広域)	将来開発 集客数 (近隣)	合計※
東五反田1	1,305	497	278	856	3,905			6,841
	—	497	—	856	3,330			4,683
東五反田2	2,573	612	293	1,251				4,729
	—	612	—	1,251				1,863
東五反田3	363	240	222	414				1,239
	—	240	—	414				654
東五反田4	103	103	224	178				608
	—	103	—	178				281
東五反田5	850	337	162	581	82			2,012
	—	337	—	581	59			977
西五反田1	1,152	420	83	724	4,274			6,653
	—	420	—	724	3,388			4,532
西五反田2	2,489	894	104	1,541	82			5,110
	—	894	—	1,541	59			2,494
西五反田3	848	349	271	601				2,069
	—	349	—	601				950
西五反田7	1,921	639	55	1,102				3,717
	—	639	—	1,102				1,741
西五反田8	799	461	258	794				2,312
	—	461	—	794				1,255
合計	12,403	4,552	1,950	8,042	8,343			35,290
	—	4,552	—	8,042	6,836			19,430

※合計欄の上段は滞留者数（屋内滞留者～将来開発集客数（近隣）までの合計）、下段は帰宅困難者数（滞留者数から、屋内滞留者、待機人口避難者、将来開発集客数（近隣）を除く）

※東五反田2丁目のみ、大崎駅の鉄道乗車人員の伸び率を考慮している。

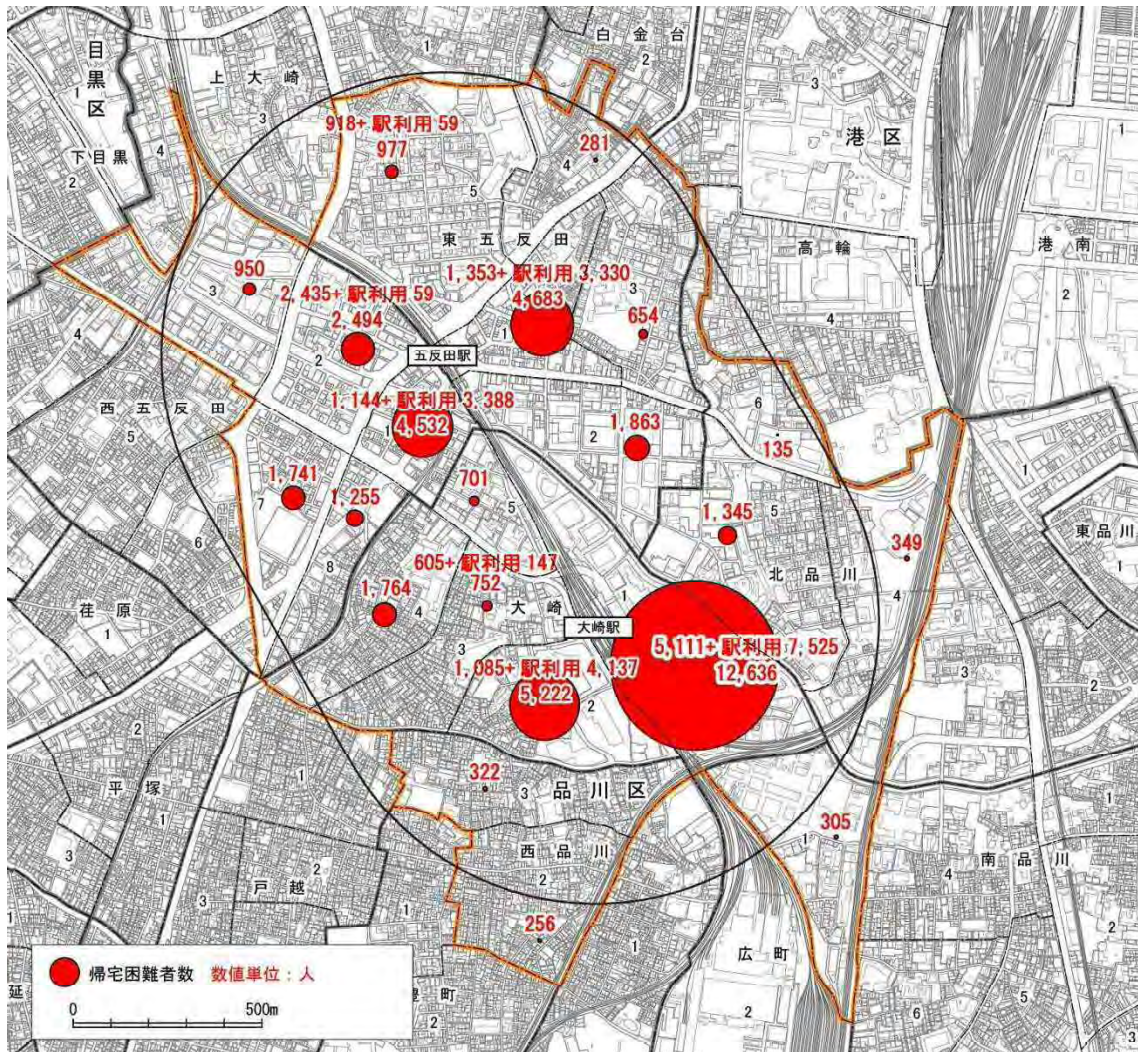
図表 17 町丁目別 滞留者数¹



図表15および図表16の滞留者数について、町丁目別に分布を整理した。

- ・滞留者数が最も多くなるのは、大崎駅に隣接する大崎1、2丁目、五反田駅に隣接する東五反田1丁目、西五反田1丁目となる。

図表 18 町丁目別 帰宅困難者数¹



図表15および図表16の帰宅困難者数について、町丁目別に分布を整理した。

- ・ 帰宅困難者数が最も多くなるのは、滞留者数と同様、大崎駅に隣接する大崎1、2丁目、五反田駅に隣接する東五反田1丁目、西五反田1丁目となる。

c. まとめ

大崎駅周辺地域の滞留者数および帰宅困難者数について、以下のとおり整理した。

【滞留者数および帰宅困難者数の推計】

- ⇒大崎駅周辺地域における滞留者数は約77,000人、帰宅困難者数は約43,000人と推計され、そのうち、鉄道利用者は滞留者約22,000人、帰宅困難者約19,000人を占める。
- ⇒対象地域内の昼間人口約53,000人と比較して、帰宅困難者数はこの約8割の規模となる。

2. 現況および課題の把握

⇒ 滞留者数および帰宅困難者数が多い町丁目は、大崎駅に隣接する大崎 1、2 丁目、五反田駅に隣接する東五反田 1 丁目、西五反田 1 丁目となり、駅周辺での対策が重要となる。